

恋する川柳物語かわら版



其の二十四 第二十三回「恋する川柳」―【夏】あなたと

鮎む（歩む）川柳編 ― の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」夏編では、『鮎（あゆ）』という言葉

を句に詠み込むというお約束でしたね。
ワイルドだぜ。いえいえ、おふぎけではないんです。今年の鳥取の夏のワイルドだったこと！まず何よりも、例年に見られないその異常な気温。鳥取市、県内の中でも暑過ぎるっちゅーの。これはもう「熱い」の世界ですよ。うちのオババ様なんて、あれだけ頑丈にできていた人が二度も！初の熱中症&日射病に倒れてしまいました。自分の親のことで、初めて心底ビビりましたよ！

というように、この夏の「恋する川柳」熱も急上昇↑↑↑。ご応募者数・ご投句数ともに新記録達成です。おめでとございます〜♪ ロンドンオリンピックでも数えきれないくらいの感動の涙を選手と共に流しましたが、正直私にはこちらの「もうひとつの五輪」のほうがずっと熱い感動を頂きました。みなさま、本当にありがとうございましたー！！！！
ってなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

【応募作品一覧】

◆ 我が恋の 歩むみち細く 迷い径

◆ 平成っ子 困った川で 鮎つかむ (P・N昭和の写楽)

◆ 上げ花火 揃い浴衣の ふたり連れ (瀬戸内市)

◆ 天国の 君に会いたい 蔓伸びる (P・N 艶子)

◆ 一人旅 鮎の塩焼き 恋の味 (P・Nとまと)

◆ おい八神 何よ大国 永遠の愛 (宇治市)

◆ 楽しみは 特産アユの 塩焼きだ。(三朝町)

◆ 鮎鮎も 母も待ってる 盆もまた

◆ つりつられ 袖振り合も 鮎の町 (P・Nとーさぶろー)

◆ 楽しみは 清流の鮎と 遊ぶこと

◆ 君と歩む 出口が見えない 花迷路 (鳥取市)

◆ ロンドンへ メダル目指して 上り鮎 (P・Nていちゃん)

◆ チャットから 歩み始める 恋の道 (P・Nもぐらおやじ)

◆ 日焼け止め 塗って塗られて 夏の海

◆ 砂浜に 埋めてスキみて キス一つ (P・Nよこべー)

◆ 清流に 鮎も子らも 跳ねる夏

◆ 甲子園 敗れて消える 恋心 (P・Nいなちゃん)

◆ 肩並べ 鮎の塩焼き 頭から

◆ 夏雲に 遠い初恋 甦る (P・N矢車草)

◆ 若き夏 ナンパも出来ず くやぶ浜

◆ うぶな娘を だましてやった 夏おもう (P・Nクンタ・キンテ)

◆ 愛してる 鮎に会いたい アユの町 (兵庫県)

◆ この暑とて 真っ赤な恋には かなわない (P・N翔のんまな)

◆ クラス会 おいしかったよ 鮎の膳

◆ さわやかに 鮎の香りが かわはらに (八頭郡)

◆ 人生は 目的定め 歩むのみ

◆ 塩焼きの 鮎料理に 舌つづみ (鳥取市)

◆ ゆっくりと 歩む隣りは 恋しい男性 (P・N里美)

◆ 歩こう会 恋も同時に 歩んでた (P・N うおーキング)

◆ 鮎踊る 心も跳ねる 初デート (P・N おっとめえ)

◆ 恋模様 合間をぬって 泳ぐ鮎

◆ 泳ぎつつ 鮎の見守る 町の恋 (P・N 汐海岬)

◆ 君となら 鮎泳ぐ川 故郷に

◆ 鮎食べる 君の笑顔に 友釣られ (P・N おでんケーキ)

◆ 鮎レディー? 塩・串揃え 待ってます

(P・N H I K K Y)

◆ 出会いから 二人で歩んだ 半世紀

(P・N カエツクン)

◆ 恋実り 零(あゆ)りし涙 とめどなく (P・N トモモ)

◆ 百万年後も あなたと 歩んでる

◆ ミス岩美 君はスターの 道歩む

(P・N 岩美のおぼっちゃま)

◆ 将来へ 君と歩いて 影ひとつ

(P・N 日本の救世主「ぬこ」)

◆ 鮎のように 水がはじける 肌欲しい

◆ ホタル見て 尻に火が点き プロポーズ

(P・N ザ・落花生)

◆ 鮎料理 食ったつもりで めざし食う

◆ 幾たびの 夏が流れて 名も忘れ (P・N 影法師)

◆ 暑くても 真っ赤な恋には かなわない

◆ 灼熱の 恋にゃ暑さも 逃げます (P・N 翔のんまな)

◆ 焦がれてる 思いよ届け 夏空に

◆ 夏空と この海山に 恋してる (P・N みゃんくん)

◆ ああゆめか 彼女抱き寄せ 目が覚める

(P・N 角奈緒也)

◆ 東風(あゆ)運ぶ 見上げた青空 笑顔の君

(P・N いちごかめん)

◆ 歩まずに 居られぬ君と 幾歳も (P・N すふいんくす)

◆ 風鈴が チリンと鳴って 恋終わる

◆ アイスティ 氷溶けたが 彼は来ず (P・N 薬寺村池丸)

◆ 鮎の骨 綺麗に残した 君に惚れ

◆ 陽炎に 二人の影も 揺れている (P・N 花キャベツ)

◆ 結ばれる 二人の心 鮎河原 (P・N あおいそら)

◆ サイダーの 泡と日焼けと 消えた恋

◆ どしゃ降りも ひとつの傘で 歩む恋 (P・N 光風雫)

◆ 若鮎と 呼ばれた妻は 今いずこ

◆ 宿題は 二人で歩む 道調べ (P・N となみん)

◆ 見てたのは 花火じゃなくて 君の顔 (P・N たけ)

◆ 鮎の里 釣った彼女を 食いそびれ

◆ プロポーズ 今か今かと 夏の夜 (P・N 柳兎)

◆ 知っててね 歩みさんって 女流棋士 (P・N 笑全)

◆ 夏休み あの娘(こ)に会えぬ このつらさ

(P・N かつしー)

◆ マジ！マジで？ AYUに告られ 朝憎し

(P・N ハマちゃん)

◆ 新緑に 元気もらって 歩む道

◆ 匂い香で 旅愁味わう 鮎の里 (P・N カズちゃん)

◆塩焼きの 鮎をほおぼる 恋仲間 (P・N みっちゃん)

◆歩みとめ ふいに口づけ 遠花火 (P・N ハイネ)

◆あなた見て 心できいた アーユーハッピー?
(P・N ボビー)

◆鮎になり 寄り添い泳ぐ 天の川

◆馴初めは 鮎つり絡んだ 赤い糸 (P・N 高塔山の河童)

◆堰をして アユつかみ取り 子らの夢

◆清流で 相手求めて 河鹿なく (P・N 雅)

◆あの女(ひと)の 香り懐かし あゆの風 (P・N 看花郎)

◆爛漫に 鮎を骨まで 食べるきみ (P・N 雀頭対子)

◆天の川 夢の中まで 逢いに恋 (P・N みつかいかさ)

◆古希すぎて 恋の一句を ひねる夏 (P・N 好日郎)

◆アルバムに 若鮎だった 頃の我れ

◆まだ続く この猛暑にも 耐えた恋 (P・N かきくけ子)

◆キュンとくる 夏の打ち上げ 大花火

◆縁起物 占い上手 鮎に聞こ (P・N 光山道潤)

◆思い出す 初めて君と 食べた鮎

◆かき氷までも 溶ろける 夏の恋 (P・N なほばば)

◆青空と 汗とが借景 思い出が (P・N 湘里庵)

◆若鮎に 友釣りかけて ゴールイン (P・N くにお)

◆若鮎のごとき 若人 五輪はね (P・N ひもじーさん)

◆またこけて 一步一步と 歩む孫 (P・N 隆太郎)

◆鮎になり あなたに釣られて みたい夏

◆清流の 心で歩む 恋の道 (P・N はるやす)

◆きらきらと 婚活をする 鮎と君

◆砂浜の カレに突進 すいか割り (P・N 真昼)

◆夏到来 涼しさ求め 鮎の町

◆ひと夏の 恋が育って 歩む秋 (P・N よしたい)

◆消費税 日本政府と 歩めない (P・N クンタ・キンテ)

◆Are You?と 心で愛を 問いかける
(P・N 清茶庵)

◆恋占い 魚で占い 鮎使う (P・N コイでなく鮎)

◆若鮎が はしゃいだ夏の 恋しぶき
(P・N パタパタママ)

◆夕暮れの メールに飛ばす 恋螢 (P・N ふくりん)

◆清流に きらり鮎二尾 夏の恋 (P・N ふっきー)

◆ウナギより 愛する彼に 鮎を焼く (P・N タ顔)

◆夏花火 長い場所取り 君のため (P・N ともえ)

◆友鮎に 糸を切りたい 出逢いあり (P・N 船岡五郎)

◆ロンドンの 若鮎たちに 恋をする (P・N れんじい)

◆初デート 鮎の塩焼き ほろ苦い (P・N 吞ぶら子)

◆夏の雲 どこかアナタに 似ています

◆アルバムに 母が恋した 夏が或る (P・N あいらむ)

◆かき氷 君と食べれば すぐ融ける (P・N しかむすこ)

◆ ああごめん きみの尾緒に 見惚れてた
(P・N金魚姫に恋をした)

◆ 若あゆの 苦みに惚れて いまふたり

◆ 若鮎の 苦みに惚れて 今夫婦 (P・Nせせらぎ)

◆ 鮎はいい 友釣りなんて 策がある

◆ 鮎は旬 私も旬と PR (P・Nクジラ)

◆ 鮎もなか 頭は君に しっぽ僕

◆ 三人に 鮎の箸置 仲直り (P・Nながれやま)

◆ 失恋の 相談するふり 仕掛け針 (鮎) (P・N尼の雀)

◆ 泣き虫で 歩み寄りたい 守りたい (P・Nあじさい)

◆ 鮎恋し 心釣られて 幾年か (P・N悠)

◆ 年の差に ちょっと苦味の 若き鮎

◆ 鮎一尾 彼女に喰われ 尾は彼に
(P・Nいしざわこーど)

◆ 思い出が 川面に映る 鮎ゆ姫 (P・N鮎世紀)

◆ 歩みゆく 君の歩幅で 一歩ずつ

◆ 波打ち際 置き去りされた 淡き恋 (P・Nあーさま)

◆ 告れずに 君に聴かせる あゆの歌 (P・Nポインタ)

◆ あなたなら 歩む歩幅に 合わせます (P・Nリリー)

◆ 暑ければ なお燃え盛る 恋もあり (P・Nビッグ)

◆ 春夏鮎秋冬 ずっと君という

◆ 鮎の香と 君の香りに 知る大人 (P・Nゆずり葉)

◆ 年魚(あゆ)じゃない 恋する気持ち 永遠に

◆ 浴衣着た 君の襟足 眩し過ぎ (P・Nおじゃすか)

◆ メスの鮎 お酢(オス)がその味 引き立てる
(P・Nマリー)

◆ ああ、爽快 鮎の骨抜く その瞬間 (P・Nまる)

◆ 恋薬 混ぜてビキニへ 水鉄砲 (P・Nルーク)

◆ お揃いの 浴衣で弾む 胸と足 (P・Nれもん)

◆ 遠回り 心もあゆむ 出会う恋 (P・Nせいいち)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・Nもへじ)

◆ スイカみたい 鮎に重なる 影ふたつ

◆ 鮎の香を かぐ君の目が 近すぎて (P・N五十五)

◆ 避暑地から 海の香添える 恋メール

◆ 文学書 令嬢鮎 恋日記 (P・Nチユン子すずめ)

◆ 貴方との 絆で歩む 夫婦道

(P・Nいしいのばあちゃん)

◆ 君と僕 Are you ready? 夏の恋

(P・N八六星)

◆ 鮎になり あなたの川で 飛び跳ねる

◆ 初恋は ちょっと苦めの 鮎の味 (P・Nまあくん)

◆ アユレディ 飛びこめ深く より深く

◆ 二人して あゆみの箱に 愛も入れ (P・Nトモパパ)

◆ ARE YOUは(鮎は)魚? とカッコつけた

幼い恋(鯉) (P・Nノスタルジー)

◆ 酷暑さえ 恋の薬味に なった夏 (P・N花火)

◆ 銀婚式 魚占い 鮎を釣る (P・N森のうさぎ)

◆ 次の恋 辿りつけずに 夏終わる (P・Nぼっち)

◆ 合宿で 夜中にこっそり 会ってたね (P・N黄くま)

◆ Are you ready? 君への想いは OKよ

◆ 縄張りを 鮎のごとくに 倦怠期 (P・N P O N 5)

◆ 美しき あなたの肌は 鮎のよう (P・Nらんご)

◆ 暑い日々 緑重なる 夏の日々

◆ 手を取りあい 共に歩んだ 25年 (P・N甲斐千春)

◆ プチトマト 噛んだら彼の シャツにぶち!

◆ 踊る輪の たったひとりを さがしてる
(P・Nかわちゃん)

◆ この土地で 君と歩んだ 半世紀 (P・N Konkon)

◆ 鮎の香に 良く似た君の 髪が好き

(P・Nだじゃれまん)

◆ 光る夏 鮎のささやき 盆浴衣 (P・Nだじゃれまん)

◆ 人生を ともに歩んで 珊瑚婚

◆ あゆの香が 口にひろがる 旅の宿 (P・Nゆうな)

◆ 鮎釣りで 釣った彼女が 今の妻

◆ 泳ぎ下手 鮎に習へと 彼の声 (P・Nヒデじい)

◆ 風鈴に 恋するふたり 響き合う

◆ おふたりは いつもお似合い

サマ (summer) になる (P・Nとんちゃん)

◆ 鮎みたく いつかあなたへ 戻りたい (P・Nピノコ)

◆ これからも 共に歩もう でこぼこ道 (P・Nはまっち)

◆ 花火より あなたの顔を見てたっけ

(P・N神崎みさき)

◆ かき氷 愛のトンネル 通じ合う

◆ パラソルに 隠れて恋の 花が咲く (P・Nうずまき君)

◆ 鮎だから 激流いとわず 棲めまする

◆ 荒波を 苦勞承知で 歩みます (P・N大和の雨蛙)

◆ 夏の日の 恋は熱くも 冷めやすく

◆ 夏の海 寄せては返す 恋心 (P・N雀の涙)

◆ 彦星と 織姫添えぬ 天の川 (P・N湯たんぼ)

◆ 陽だまりも スコールもある 夏の恋 (P・N香山)

◆ ひと目ぼれ 自分に尋ねる
Are you ready? (P・N鮎女)

◆ 君を見て 鮎の味さえ 覚えてない

◆ 水を得た 鮎になります 恋を得て (P・N変人)

◆ 夏の恋 花火の様に 舞い上がる

◆ 祭り渦 花火が誘う 夏の恋 (P・N働き蜂ちえちゃん)

◆ 風鈴の 音色にうかぶ 過ぎし恋

◆ 彼の時は 君に寄り添い 庭花火 (P・Nみすず)

◆ 初めての 君の浴衣に 気もそぞろ

◆ 天の川 きっと彼なら 飛び越える (P・Nすみれ)

◆ こけ(苔)なけば 歩む(鮎生む)ことなし 恋川原

(P・Nかんのんの)

◆ 故郷の 縁日ふたり 結びつけ

◆ 秘めた恋 花火のように 打ち上げる (P・Nミント)

◆ 夏の恋 熱が下がれば 秋(飽き)が来る (P・N星武道)

◆ 川と海 鮎も同じね 浮気性 (P・Nみく)

◆ ひと夏の 砂に描いた 恋でした

◆ 弾む夏 初恋の子と 国訛り (P・N氷川の 杜)

◆ かき氷 ひとつに匙が ふたつほど (P・N 姫ちゃん)

◆ 愛すって こんなに歩み 軽くする

(P・N Tシャツ日和)

◆ 清流の 証明鮎が 遡上する

◆ 鮎飯と 聴いて長駆 帰省する (P・N比呂子)

◆ まっしぐら 川の匂いの 分かる鮎 (P・N 茂平)

◆ 恋に酔い 心地良さげに 世を歩む

(P・N おおつきらい)

◆ 歩み止め 君の背に映ゆ 遠花火

◆ 遅くとも 二人の歩み 明日に向け (P・N やまちゃん)

◆ 初恋の 人に思わず 歩み寄り (P・N かずりんちゃん)

◆ アユの道 清かに流る 道が好き (P・N 飛び魚)

◆ 溪流の エコの“語り部” 鮎の群れ (P・N 蜻蛉)

◆ あえかなる いのちのほむらよ 函鮎 (P・N 茶々丸)

◆ 鮎真似て 友人おとりに コイ狙う (P・N 北山エイト)

◆ 若鮎が するり飛び込む 腕の中 (P・N かたおもい)

◆ エアコンを 切って薄着に させる罫

◆ つないだ手 離れたあとに 拭く彼女 (P・N 夏舟)

◆ 歩む音 来いよ届けと 風鈴に

◆ 浴衣着て 手と手を鮎む 夏の夜 (P・N れんこ)

◆ クーラーを 切ってお2人 扇ぎ合い (P・N 毒吐信士)

◆ 君の後 歩む幸せ あの日から (P・N 一本木)

◆ 歩み寄る 一步はいつも わたしから (P・N ななつ)

◆ 梅雨晴れが 楽しいデート 演出し

◆ 歩む道 君と二人が ちょうど良い (P・N 飯田屋飛躍)

◆ 若鮎の ような告白に 頷く

◆ 君の釣る 鮎になりたい この夏は (P・N 英英緒)

◆ 鮎もなか 食べて夢みる 甘い恋 (P・N 散歩)

◆ 背は夕陽 まさにチャンスで 歩み寄る

(P・N せんちゃん)

◆ 雲上の 母と食べたい 鮎もなか (P・N 緑茶)

◆ 若鮎の ようにあの子は 泳ぐやら

(P・N よったんぼうや)

◆ 東風(あゆ)浴びて 流る髪を 追いかける

(P・N つぶ焼きイモ)

◆ 友釣りは 恋の鞘当て 寄らば斬る (P・N 黒柿)

◆ 蛍の火 恋焦がれて もう50年 (P・N よつは)

◆ 憎いのは 恋の邪魔する おとり鮎 (P・N 奴だこ)

◆ アーユウー マイスウィート ホームハニー?

◆ 若鮎の ごとく跳ねたる わが初恋 (P・N 悠々愛々)

◆ 鮎釣って 恋の思い出 よみがえる (P・N みぢんこ)

◆ 歩む道 スキップになる 初デート (P・N しかおとこ)

◆ あら不思議 わたしの恋は いつも夏
(P・N紫陽花の宮)

◆ 縄張りに 入って来ない 鮎ばかり

◆ 待ちつづけ 恋に疲れし 囃鮎 (P・Nポントロウ)

◆ 掴んだと 思えばつるりん 鮎に恋 (P・Nもも)

◆ 別の道 歩む二人の 同じ恋 (P・N琴音翼)

◆ 夏の日に 鮎と初恋 飛び跳ねる
(P・N paipai ibuchin)

◆ 好きならば ぼくのところに 鮎に恋

◆ 夏の恋 終わってぼくは 歩みだす (P・N春舟)

◆ ハラワタの 綺麗な君と 鮎が好き

◆ 若鮎の 君はいつも 掴めない (P・Nたかさま)

◆ 盆帰省 大人びた君と すれ違う (P・Nのんきさん)

◆ はぐれない ようにつなぐ手 夏祭り (P・N鼓吟)

◆ 鮎解禁 塩焼きせごし 恋しいな

◆ 鮎解禁 鮎としたいな ランデブー (P・N光男)

【学校編】

◆ 初恋の 小さな気持ち 歩んでく (P・N SNSD)

◆ 砂浜で あなたと歩む 恋の道 (P・Nボッスン)

◆ 並木道 まるであなたと 歩む道 (P・N RED)

◆ あのひと 歩む青春 夢みてる (P・N ポンポ)

◆ 梅雨時期に あなたと歩む 傘1つ (P・N ト音くん)

◆ 帰り道 あなたと歩む 恋の道 P・N おさっぺ)

◆ 彼のこと 目で追いながら 歩む日々 (P・N みるく)

◆ 手をつなぎ 歩んで行こう これからも (P・N ☆)

◆ 夏祭り あなたと二人 歩む夜 (P・N プリン)

◆ 夕焼けを バックに歩んだ あの記憶 (P・N シルバー)

◆ 高校に 君と歩んで 行きたいな (P・N エルモ)

◆ 忘れない 君と歩んだ 花火道 (P・N すがちゃん)

◆ 花火舞 肩に寄り添う 鮎美さん (P・N ラズベリー)

◆ 若鮎が はねるキラキラ 水しぶき (P・N トントン)

◆ 放課後の あなたと歩む 帰り道 (P・N 樹月)

◆ 万緑で 君と一緒に 歩んだ (P・N 青空)

◆ 帰り道 君と歩みを 合わせたい (P・N 必須)

◆ 夏の道 君と歩んだ 過去がある (P・N おっちゃん)

◆ さようなら あなたと歩む この道に (P・N はっしー)

◆ 帰り道 歩む二人の 影並ぶ (P・N ユメ)

◆ 川遊び 鮎の友釣り 五月雨だ (P・N ニック)

◆ 君想い 歩んだ道は 交わらず (P・N 汐音)

◆ 花火から 私の思い うちあがる (P・N いしどん)

◆ あのの人に 想いを届け 桜咲く (P・N リロ)

◆ 好きですと 本当の気持ち 言えたら (P・N さら)

◆ 花火より 花火を見てる 君が好き (P・N DGK)

◆ 引っこしで さよならつける お別れの

(P・N おかもん)

◆ 教室で 目が合うたびに すぐそらす

(P・N あーちゃん)

◆ 花火咲く あなたとずっと 見上げたい

(P・N ミーたん)

◆ 自慢の目 あなたを即座に 見つけだす (P・N なつき)

◆ 夏祭り 何より探す 君の姿 (P・N こうたろう)

◆ あなたとね 見上げた空に 虹かかる (P・N ピーチ)

◆ 夏はなび いっしょにやろう あたたまる

(P・N まいまい)

◆ 暑い夏 流した汗と 散った恋 (P・N ナエムラ)

◆ この空を 君のとなりで 見ていたい (P・N ヒロっち)

◆ 辛いのは あなたをみてる 私のせい

(P・N Peace)

◆ 思い出を 二人でいっしょに つくりたい

(P・N やまっち)

◆ 夏の夜 あなたと見たよ 星空を (P・N うさぎ)

◆ まっすぐな 君への思い いつまでも (P・N グリーン)

- ◆ 手をつなぎ 君と遊ぼう 夏祭り (P・Nサイサイ)
- ※以上、吹田市立豊津西中学校のみなさま

【番外編】

- ◆ 囁きの 甘い香りの 忍び傘 (瀬戸内市)
- ◆ 恋心 願い叶って 熱が冷め
- ◆ 目の隅に あの人がいる 胸うづく (P・N雪子)
- ◆ アドレスを もらってから 長期戦 (P・N宝塚としお)
- ◆ もう少し わがまま言わせてネ 貴方 (P・N里美)
- ◆ クラス会 解凍してる 恋心 (P・N雄之介)
- ◆ タ立の 相合傘が 結ぶ恋： (P・N紙風船)
- ◆ 古希の会 ホの字の彼女(ひと)と 視線避け (P・Nこうちゃん)
- ◆ 今日もまた 憧れのひと 傘のそと (P・N川流れ乾太)
- ◆ 激しかれ 愛川面衝く 雨のごと (P・Nすふいんくす)
- ◆ おかしさえ 喉を通らぬ 片思い (P・Nおさぼう)
- ◆ 恋したら 飛び越せそうな 水たまり (P・Nいのさん)
- ◆ 雷が 苦手彼女に 抱きついて (P・Nおとみさん)
- ◆ 今日告る 娘のために カツ弁を
- ◆ 初恋に 破れ泣く娘の いじらしく (P・Nはまゆう)
- ◆ ストレート 僕の投球 ストライク (P・Nグッチ)

- ◆ 国生みの 古事記に記さる 姫の名は 千参百年の 時空を超えん (兵庫県)

- ◆ 騒音も 手話の恋路は 邪魔出来ぬ (P・N湯たんぼ)
- ◆ 誉めてあげ 優しくしてあげ 労わりも
- ◆ 長生きは 二人で元気に 手をつなぎ (P・N虎次郎)
- ◆ 顔見ると 怒っていたのに にやけ顔 (P・Nグルミット)

- ◆ パプロフの犬 初恋は 沈丁花 (P・N文海胡)
- ◆ 語らずも いつも寄り添う つがい鳥 (P・N星 武道)
- ◆ 胸を打つ 万葉人の 恋の歌 (P・N茂平)
- ◆ いつまでも 崩れたケルンに 石を積む (P・N茶々丸)
- ◆ 恋の鳥 誰もかれにも 優しくす (P・Nおらが春)
- ◆ 恋の目が 分からぬように 分かるよに (P・Nかぐや姫)

【特別賞】

- ◆ こう呼ぶと 安心します 「あなた」って (P・Nお酢)
- ◆ アクセルを 踏み込むような 夏の恋 (P・Nよこべー)
- ◆ 《一言》夏の時季ならではの疾走感がたまりません☆ 笑ってよ 君の笑顔で 夏開始 (P・N鯛)
- ◆ 《一言》若者達の眩しい夏の始まりが凝縮されています！ ギター弾く 半袖シャツに 夏光る (P・Nちずちゃん)
- ◆ 《一言》鳥取の「青い鳥コンサート」いいですよ♪
- ◆ 遠花火 ここは二人の 秘密基地 (P・Nれんじい)
- ◆ 《一言》遠花火の方が二人の距離が近くなる感じ。
- ◆ 飴売りの 大胸筋に ときめいて

(P・Nむきむき実現党)

《一言》屋台の「看板男子」にはイケメン多し!?

◆ひとり旅 夏季限定の 恋をする (P・Nぼっち)

《一言》こんな大人女子な旅、夢のまた夢：ですかね。

◆夏期講習 あなた目当てで 通ってた (P・N黄くま)

《一言》オンナゴコロの素直な表現が花マルです。

◆指切りの ホームに蝉の なく郷は (P・N福期待)

《一言》郷愁を誘う田舎まちの情景が印象的です。

◆アルバムを 歩む手のひら たくましく (P・N三つ柏)

《一言》幼児の漲る生命力の描写に目を奪われました。

◆愛孫は あっと言う間の 里帰り

(P・Nよったんぼうや)

《一言》私でも切ない。切な過ぎて、涙・涙・涙…

※以上十名様には、秀句として鳥取限定モ愛ストラップをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ゆらゆら因幡の白ウサギストラップをお届けします。

◆はじけそう あなたに抱かれ 鮎になる (P・N鮎美)

◆この夏は 落ちた“ボーナス”“恋”“贅肉”

(P・Nみずきち)

◆夏の恋 探しに上る 雲の峰 (P・N散歩)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせて頂いております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム(P・N)の付していないものについては、宛先のみご紹介させていただきます。

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせていただきます。次回の【秋】「は梨(話)ふくらむ川

柳」編は九月に募集しますので、お見逃しなく☆



先日 (8月18日土曜日) 山陰、いやおそらく全国でも初となる『古事記ヘアショー』を地元の理容師さんと開催しました。「因幡の白うさぎ」のストーリーに沿って、物語に登場する神様たちに扮した5人のモデルさんたちが、華麗に古代ヘアへと変身していく様子はたいへん見ものでした(@^^)/~~~
by. KISAKI HIMEKO (郷土神話観光 コーディネーター ☆)

